

# 航空機部品の24時間無人加工体制に向けた取り組みで企業力を向上

## 課題

### 24時間無人加工体制で増産体制を整えたい

創業以来、工作機械等の産業機器における治工具の設計・製作を得意技術としてきた有限会社川喜田製作所。産業のニーズ、需要の変動とともに多様な産業機器に関する部品製作を手がけるようになり、その範囲は、医療・自動車・玩具などの多様な産業分野におよんでいた。

しかし、リーマンショックによる世界不況の影響を受け、平成21年、23年と売り上げが低下。経営赤字状態に陥った。

経営の安定化を図るため、得意先の確保と成長産業分野への進出が不可欠と判断。新たに航空宇宙分野という国際的な成長産業分野への参入を図った。

同社の強みである治工具の設計・製作という技術関連から、宇都宮市内の複数の航空宇宙関連企業から引き合いがあり、平成25年には試作品づくりにともなう受注生産を開始するなど順調なすべり出しを見せたが、航空機業界からの要望である増産体制を確立できる設備や人材の不足が課題だった。

そこで、経営者は大平町商工会に相談。専門家派遣制度（エキスパートバンク、ミラサポなど）を活用しながら、「24時間無人加工体制」を着想。実現化に向けて、効果的かつ実効性の高い支援を受けることになった。

## 支援

### 助成金と専門家支援で企業力を格上げ

平成26年、同社は商工会のサポートにより、ものづくり補助金で少量・多品種の航空機構造部品の製造を行う高性能工作機械などを導入した。これにより、自動化無人運転が可能になり、増産体制の強化を実現。航空関連の取引先を新たに2社獲得することができ、現在も良好な取引関係を続けている。

また、商工会のサポートを受けながらものづくり補助金の申請や経営革新計画の策定を行い、同社の強みである治具の設計・製作の技術を活かす加工工法も確立した。

喫緊の課題だった人材育成と、若手従業員の確保と定着率の向上については、専門家派遣によるアドバイスを受け、後継者である専務自らが率先して資格取得を行う姿勢を見せた。専務が平成26年に「厚労省ものづくりマイスター」、平成27年に「栃木県とちぎマイスター」に認定されると、



ものづくり補助金で導入した機械

従業員も自ら技能検定を希望して受験するなど相乗効果を生んだ。経営者は「従業員の自発的なスキルアップの環境ができてきた」と取り組みの成果を実感している。

平成29年には、アルミの高精度・高品質加工技術で「栃木県フロンティア企業」の認定も取得。今後は、商工会の支援を受けながら、販路開拓や既存取引先との関係強化を高め、「24時間無人加工体制」の実現に向けて取り組みを行っていく予定だ。

## 支援の経過

期間	支援内容
H26年1月～	ヒアリング開始
"	経営革新計画の策定支援（同5月承認） ものづくり補助金の申請支援（同8月採択）
H27年	持続化補助金の申請支援（同9月採択）
"	企業カランクアップ事業の申請支援（28年認証）

## 会社概要

会社名：有限会社 川喜田製作所  
住所：栃木県栃木市大平町土与12  
電話番号：0282-22-2393  
URL：<http://www.kawakita-ss.com/>  
代表者名：代表取締役 川喜田正男  
創業年：平成2年  
従業員数：13名  
商工会名・担当者名：大平町商工会・福原辰也